

「篤志奨学資金給与基金」への御協力をお願い

ここ数年、多くの皆様の本基金への御理解を賜り、多大なる善意をいただくことができたため、郡山市篤志奨学資金奨学生の新規採用枠を増員し、平成30年度は15名、31年度は18名、令和2年度は20名、3年度は22名、4年度は38名の新規採用枠となっております。

今後も、経済的に困窮する高校生の修学を支援するため、「郡山市篤志奨学資金給与基金」への御協力を是非ともお願いいたします。

寄附金のお申し込みについて

申し込みは、個人、団体等についての定めはありません。
金額についても定めはありません。
お申し込みをいただける場合は、次の連絡先まで御連絡をお願いします。

なお、寄附金は、確定申告をすることにより、所得税、住民税の控除対象となります。
また、法人の場合は、法人税の控除対象となります。
(控除の詳細は税務署にお問い合わせ下さい。)

【連絡先】

〒963-8601
郡山市朝日一丁目23番7号
郡山市教育委員会事務局
学校教育部 学校教育推進課 学務・通学路係

電話：024-924-2431
FAX：024-935-5610



とくし 郡山市（篤志）奨学資金制度の御案内

次代を担う郡山の子どもたちを対象とした
奨学資金制度の充実について御理解と御協力をお願いします

■郡山市の奨学資金制度■



本市の奨学資金制度では、高等学校に進学する生徒を対象として次の奨学生を採用し、高等学校への在学期間中に思う存分学ぶことができるよう、返還義務のない給与型の奨学資金（月額1万円）を支給しています。

郡山市篤志奨学資金奨学生

〔令和4年度は38名を採用〕

奨学資金財源： 篤志家（社会奉仕や慈善事業を支援する方）からの寄附金を基に
設立した「郡山市篤志奨学資金給与基金」の益金及び積立金

郡山市奨学資金奨学生

〔令和4年度は37名を採用〕

奨学資金財源： 市の一般財源

奨学資金を受給して高校を卒業した生徒の皆さん から、多くのお礼の声が寄せられています

私の将来の夢は、救急救命士になることです。救急救命士となり、多くの人の命を救ったり、社会に貢献できるような人になりたいと考えています。いただいた奨学資金のおかげで3年間高校に通うことができましたし、部活動の野球では県大会準優勝という成績を残すことができ、充実した高校生活を送ることができました。また、高校卒業後は救急救命士になるために、県外の大学への進学も決まりました。大学進学後は、救急救命士のスキルや知識を身に付け、国家資格を取得できるよう頑張ります。

高校3年間奨学資金を受給していただき、本当に感謝しています。今度は私が救急救命士となり、郡山市に貢献できるような人になるよう頑張ります。

(普通高校、男性)

高校生活では特に部活動に力を入れました。珠算部に所属し、全国大会優勝を目標に日々練習してきました。いただいた奨学資金は、合宿費や大会へ出場するための遠征費に充てさせていただきました。そのため、1年生の頃から多くの合宿や大会に参加し、練習や経験を積むことができました。その結果、最後の全国大会で優勝することができました。

学習面では、商業に関する知識を身に付けることができました。検定費にも奨学資金を充てさせていただき、日商簿記2級など多くの検定を取得できました。

これからは専門学校に通い、自らの夢を叶えるために努力していきます。充実した高校生活を送ることができたのは奨学資金の支援があったおかげです。本当にありがとうございました。

(商業高校、女性)

皆さん充実した高校生活を過ごしたようです

母子家庭で家計が苦しく、大学の特待生になることを目標に日々勉強に取り組みました。吹奏楽部に所属していたこともあり、勉強時間が思うように取れず、両立に苦しむこともありましたが、どちらも自分の最大限の努力を尽くせたと思います。部活動では吹奏楽コンクールで金賞を受賞することができ、悔いなく部活を引退できました。

1月に行われた大学の入学試験で、特待生に選抜され、いただいた奨学資金は、入学金として大事に使わせてもらいました。将来は薬剤師になることが目標です。病む人の力になれる医療人として活躍できるよう精進していきます。

(普通高校、男性)

高校生活では、ハンドボール部で活動したり、国際交流ボランティアに参加したり、また、文化祭実行委員会で学校の中心となって文化祭を盛り上げる役員の一人として活動したりと、多くの新しい挑戦ができたのではないかと思います。

卒業後は沖縄の大学で、国際関係や地域創生を学び、将来は観光関連の仕事に就きたいと考えています。沖縄という遠く離れた、自分の知らない文化が多い地域で学ぶという機会はなかなかないと思います。沖縄だからこそできる経験、今しかできない経験を逃してしまわないよう、様々なことにチャレンジし、多くのことを発見できる大学生活を過ごしたいと考えています。奨学資金を受けることができたことによって、3年間充実した高校生活でした。

(普通高校、女性)

高校では特に勉強を頑張りました。古文や英語などの苦手強化の予習や復習に力を入れました。2年生の後半から習う数学Ⅲはととても難しく、授業だけでは理解できずに大変でした。

これから私は、大学に進学し、IT関係の職業に就くことを目標としています。安定した職に就き、弟の進学を手伝えるように頑張ります。奨学資金は、僕の生活を助けてくれました。僕は片親で、母が一人で家族を支えてくれていましたが、僕が中学3年生の時に病気になり、高校2年生の時に亡くなりました。大学に進学させてもらえるのも奨学資金のおかげです。本当に感謝しています。

(普通高校、男性)